

科目名・科目番号 (023761)		教員名 椎名 清和	学科等	社会福祉・選択	履修年次	2.3
権利擁護と成年後見制度			曜日・時限等	金曜日5時限・前期	単位数	2
			オフィスアワー	木曜日・3時限	B217研究室	
授業概要 とねらい		社会的排除や虐待などの権利侵害の実態や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際を視聴覚資料により紹介する。そのような実態をふまえたうえで、相談援助活動において必要となる成年後見制度や日常生活自立支援事業について講義をする。また、権利擁護に係る司法関係の組織や団体、専門職について理解することもねらいとする。				
到達目標		①成年後見制度を説明することが説明できる。 ②日常生活自立支援事業を説明することができる。 ③権利擁護活動のあり方についての知見をもつ。				
準備学習		日常生活において使用されにくい用語や異なった用いられ方をする用語があるので、一つ一つの用語を辞書や事典をもとに確認しながら教科書を読み進めてください。				
授業計画	回	授業内容	行動目標			
	1	オリエンテーション 権利擁護活動の実際	『授業計画(シラバス)』を用いて授業計画や評価方法等を理解する。 視聴覚資料等をもとに、福祉サービスの利用に関係する法律問題を理解する。			
	2	相談援助活動と法の関わり①	日本国憲法や民法、権利擁護とどのように関わっているのかを理解する。 民法における「人」や「法律行為」について理解する。			
	3	相談援助活動と法の関わり②	民法における「親族」や「相続」について理解する。			
	4	相談援助活動と法の関わり③	行政不服審査法や行政手続法等をもとに不服申立てのしくみについて理解する。 また、介護保険法や障害者総合支援法等との関係を整理する。			
	5	権利擁護に係る組織、団体	法務省における人権擁護機関の組織と役割を理解する。 家庭裁判所の組織と役割、家庭裁判所調査官の業務を理解する。			
	6	権利擁護に係る専門職	権利擁護における弁護士役割を理解する(VTR視聴)。 権利擁護における司法書士役割を理解する。			
	7	成年後見制度の全体像	成年後見制度が設立された経緯を説明できる。 成年後見制度の全体像を理解する。			
	8	法定後見①	法定後見における類型(成年後見・保佐・補助)ごとの特徴等を理解する。			
	9	法定後見②	成年後見人等の役割を理解する。 成年後見人等として活動する上での留意事項を説明できる。			
	10	法定後見③	介護保険制度や障害者総合支援法等と法定後見の関係を成年後見制度利用支援事業をもとに理解する。			
	11	任意後見	任意後見の仕組みを理解する。 法定後見と任意後見の違いを説明することができる。			
	12	日常生活自立支援事業①	日常生活自立支援事業の概要を理解する。 日常生活自立支援事業に関わる専門職について説明できる。			
	13	日常生活自立支援事業②	日常生活自立支援事業の動向を理解する。			
	14	虐待防止に関するとりくみ	児童虐待防止法、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法における対応方法等を比較する。また、虐待防止に関する民間団体の取り組みについて理解する。			
15	社会福祉士と権利擁護	「権利擁護とはなにか」という問いに対して、社会福祉士を目指す者として答えることができる。				
成績評価の方法・基準		学期末の試験(100%)で評価する。試験の成績が合格点未満のものに対しては再試験を実施する。				
教科書		書名 権利擁護と成年後見制度 [第3版]	著者 山口光治 編	発行所 (株)みらい		
参考図書		書名 医療・福祉のための法学入門－憲法・民法・行政法の基礎	著者 野崎和義	発行所 ミネルヴァ書房		
教員からのメッセージ		権利擁護は、社会福祉士の根幹をなすものの一つだと思います。いかにして人々の権利を擁護していくのかを考え続けていきましょう。				